



たちゅう

3月号① 校長 安上 訓史

★来年度に向けて本校の課題と改善の具体的方策について★ (「学校関係者評価」を受けて)

本年度の教育活動を振り返り、来年度への課題を明らかにすることで、次年度の教育内容をより効果的にする目的で、「学校評価」を実施しました。

小郡市内の小・中学校では、日頃の教育活動について、職員による自己評価を行います。(評価の内容は10項目の大項目、全体で30の項目に分けて実施)自己評価の結果を分析し、本年度の教育活動について、成果と課題を明らかにします。

2月20日(金)に立石中学校の第4回学校運営協議会(学校関係者評価委員は、学校運営協議会委員が兼ねています)を開催し、学校の自己評価をもとに、本年度の教育活動についての評価をいただきました。委員さんからいただいた助言や意見を参考に、今後一層の教育活動の充実を期して取り組んでまいります。なお、評価結果及び改善の具体的方策等につきましては、立石中学校のホームページにも掲載しております。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

I 未来へ向かう「心」の育成について

評価結果 ○成果 ●課題・疑問	改善の具体的方策
●現代社会におけるいじめは潜在化、陰湿化し、気づきにくいところで起きている。それらの状況を踏まえ、豊かな心の育成とともに不登校の予防と解消にさらに努めてほしい。	・月アンケートや教育相談等で生徒の姿をきめ細やかに捉える。生徒指導部会や職員会議等で情報共有を図るとともに、SC・SSWと連携しながらいじめや不登校に対する組織的な対応を継続する。

II 生きて働く「知」の育成について

●生きていくために必要な基礎学力(読む・書く・計算力)が身につく教育をしっかりしてほしい。 ●学力が自分の将来にどう役に立つのか理解させ、知の本質を提供してほしい。	・学力調査におけるCD層の生徒を底上げできるように、分析結果を全教職員で共有し、改善の具体的方策を可及的速やかに取り組む。また、個別指導、補充指導の充実を図り、基礎基本の定着を図るようにする。
---	--

III 健康で逞しい「体」の育成について

●毎日の家庭での手作りの食事の提供、インスタント食品や甘い菓子は取り過ぎない指導を充実させてほしい。 ●安全・防災等、地域と関わりながら身につくこともあるので、地域行事への参加を促してほしい。 ●体力向上や身体や心を育む活動をもっとやってみてはどうか。干潟の且田ヶ浦池の周遊マラソン、花立山への登山の計画を検討してほしい。	・保健体育科や養護教諭、給食センターの栄養教諭との連携を図り、食育の充実を図る。 ・令和6年度からの小中一貫校実施に伴い、4月の合同遠足において、発達障害児に合わせた活動を考える。 ・11月のウォークラリーや秋まつりでは、協働のまちづくりと連携を図りながら、生徒が参画できるように促していく。 ・地域の自然を活用した持久力などの体力の向上は検討していく。
---	--

IV 地域とともにある学校づくりについて

●「くろつちカリキュラム」の充実を図ってほしい。 ●地域の行事や、地域発展への提言で発信する活動には、積極的に参加を促してほしい。	・地域との連携を図り、生徒が積極的に地域行事へ参画していくことができるようにする。 ・地域の人・もの・ことを最大限に活かすために、学園運営協議会や小中合同研等で内容を吟味していく。
--	---

V ICT活用力の育成について

●時代に即した教育のツール、教科書内容を深めるソフトの活用を進めてほしい。タブレットを使って予習をしていく指導も必要である。 ●情報モラル教育の徹底を図り、自分の行動がどのような結果に結びつくのかを想像できるように指導をしていく必要がある。	・タブレットを使った課題の提供及び提出を行うとともに、家庭学習において予習で活用できるソフトの導入について検討したい。 ・規範意識や情報モラルを向上させるために、保護者も一緒に考え学習する場を設定する。具体的には、7月の保護者と学ぶネットラブル講座を実施する。
---	---

VI 個に応じた学びの充実について

●特別な配慮を要する児童の指導方法を工夫され、実践して欲しい。保護者と先生方、専門の先生と連携を深めて、個々に応じた教育をお願いする。その子の特技、好きな所を伸ばす指導をお願いする。	・現在も特別支援コーディネーターを中心に個別最適な学習が進められるように工夫している。今後は、さらに専門家や保護者とも連携した取組を行っていく。
---	--

VII 教職員の資質向上の推進について

●40代50代の先生方の経験を活かし、若い先生のスキルアップを図ってほしい。また、いろいろな研修会への参画に努めてほしい。 ●世の中の変化とともに生じる新しい課題に応じた専門エキスパートの導入など、無理のない提案をとり、子ども達の心身の成長に寄り添う時間を確保してもらいたい。	・ベテランの知識技能、若手のアイディアの双方が学校運営に活力を生み出すような風土を醸成していく。 ・財源の確保を如何に行うかを教育委員会とも協議しながら、外部資源・民間資源の導入、活用を検討していくようにする。また、小中一貫校実施に伴い、中学校からの乗り入れ授業等も計画していきたいと考えている。
---	---

◇新年度の主な行事予定◇

- ・4月 5日(金) 始業式
赴任式
- ・4月10日(水) 入学式
PTA役員会
- ・4月11日(木) 立石小入学式
対面式
- ・4月12日(金) 学力分析テスト
- ・4月17日(水) 小中合同遠足
- ・4月18日(木) 全国学力・
学習状況調査
- ・4月19日(金) PTA総会
歓送迎会
授業参観・学級分会
- ・4月22日(月) 部活動編成
- ・4月26日(金) 生徒総会
- ・5月1日～8日 家庭訪問及び
1日松崎 保護者面談
2日上岩田、今隈、花立
7日井上、宝満西
8日干潟、乙隈、佐ノ古、下鶴、立石、吹上

Ⅷ 小中9年間を見通した指導体制の充実について

<ul style="list-style-type: none"> ●魅力ある「小中一貫教育」の実施へ、保護者・地域と共に9年生の目指す姿に向かって、小中全教師で合同研修へ取り組み「志をもって学び、地域に貢献する生徒」を育てていってほしい。 ●カリキュラムを最大限に柔軟に活用し子ども達の成長を後押ししてもらえばと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も、学校教育目標を「郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成」とし、小中で目指すところを一つにできた。次年度も「くろつちカリキュラム」をもとに、小中の教職員で縦のつながりを深めていく。 ・小中合同の7者会を毎月行い、小中で打合わせを丁寧に行っていく。週時程を工夫し担当同士の打ち合わせも行いやすいようにする。
---	---

Ⅸ 働き方改革の推進について

<ul style="list-style-type: none"> ●省力・簡略出来るもの、分散出来るものをもう一度分析してほしい。コーディネーターの先生や、保護者の協力、外部陪読活動指導員の導入等により勤務時間の短縮を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度からの校務運営システム導入を機に、活用の促進を図りながら作業の効率化を図っていく。 ・仕事の優先順位を考え、業務の効率を意識できるようにしていく。
---	--

X 人権・同僚教育の啓発推進について

<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達はよく学んでいるようだが、保護者に対してどう啓発していくかが課題だと思ふ。 ●小中連携して人権感覚を磨く学習は大切である。継続は力、徐々にしか身につかないと思ふ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、日々の子どもの言動に注視し、些細な変化も見落とさないように、職員同士の情報共有を密に行う。 ・令和6年度は、小中の人権カリキュラムのつぎ合わせを行い、「くろつちカリキュラム」の人権プランを完成させる。
---	---

～素晴らしい卒業式でした！ 卒業おめでとうございます～

3月8日(金)に多くのご来賓の方々に見守られる中、第77回卒業式を行うことができました。3年間学び、生活し、いろいろな思い出をつくった立石中学校や仲間感謝するとともに、別れを惜しみながら、全員が胸を張って巣立っていきました。これも地域・保護者の方々の温かいご支援の賜と深く感謝申し上げます。卒業生は、中学校を卒業しても、立石の子どもです。今後も今までと変わらないご指導並びにご支援をよろしくお願いします。



～月曜日と会議のある木曜日がノ一部活デーです～

部活動が子どもたちの心身の成長に果たす意義を重視しながらも、生徒及び教職員のゆとりを確保するため、本年度は、月曜日と会議のある木曜日(子供たちにつけないため)の放課後をノ一部活デー(長期休業中等は除く)としていましたが、**来年度からは、上記に合わせて、木曜日の朝練もノ一部活デーとします。**(但し、放課後の練習時間が短い(部活動終了時刻16:45分の月)11月～1月にかけては木曜日の朝練を行うものし、その月の木曜日の放課後の練習をオフとします。)これは、過度な活動によるスポーツ障害や燃え尽き症候群等の防止、学業や地域活動との両立、家族とのふれあいの観点を重視した適切な部活動の運営に努めるためです。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。ただし、(詳しくは、本校のホームページに掲載中の部活動方針をご覧ください。)



～3月21日(木)1年生は、立石校区史跡フィールドワーク(総合学習)を行います～
(詳しくは、学年だよりをご覧ください。)

～3月21日(木)に、立石小中合同遠足に向けて、小中リーダー研修を行います～

※本年度(令和5年度)も学校に来る日も残りあと4日となりました。先日の卒業式も、在校生は、すばらしい合唱を聞かせてくれ、いい表情で卒業生が巣立っていったことは、本当にうれしく思います。

4月からは、新入生を迎え「先輩」と呼ばれるようになる一年生、学校生活で常に模範を示す「最上級生」になる二年生。いよいよみなさんが立石中学校の看板を背負うこととなります。

仲間とともに成長する自分であってほしいと思っています。ぜひ、先輩の期待を胸に立石中の歴史と伝統を受け継ぐとともに、発展させていってください。

4月からの出発を意義あるものにするためにも、来週は、一年間の自分を見つめ直し、普段の学習や生活などをしっかりと振り返り、「次年度に向けて新たな飛躍」ができるようがんばっていってくれることを期待しています。

保護者の皆様、いつも、本校教育へのご理解とご協力、本当にありがとうございます。



～3月7日(木)、ラストコンサートより～